

教員・ゼミ紹介

| | |
|-------------|---|
| 教員名 | ※ゼミは経済学部3学科のすべてのゼミ(P.68、P.74、P.80)の中から選択できます。 |
| 教員の専門や研究テーマ | |
| [ゼミテーマ] | |
| ゼミ紹介 | |

市原 博 教授

日本製造業・鉱山業の技術開発と労働関係の歴史研究

[戦後日本経済史・経営史の研究]

戦後からの日本経済と、企業の経営活動の特徴を分析することで、経済・経営の知識を養います。

伊藤 晋二 教授

臨床精神医学、臨床心理学、司法精神医学、産業精神保健、教育現場の精神保健

[精神保健学]

精神保健や臨床心理に関する論文を読み、要約して発表したり、グループに分かれて調査・発表を行います。

熊本 尚雄 教授

国際金融に関する理論的および実証的研究

[国際金融論・金融論入門]

グローバル化が進む金融・資本市場の仕組みを学び、諸政策の効果に関する洞察力を養います。

倉橋 透 教授

土地・住宅市場と政策

[日本経済と経済政策]

経済の現状を学び、ディスカッションやプレゼンテーションをしながら経済を読み解く力を養います。

黒木 亮 准教授

経済学史

[経済学の古典を原書で読む]

経済学の古典や解説書で経済学の歴史を学ぶことで、現代経済の理解と英語力を身につけます。

塩田 尚樹 教授

経済成長と環境制約、環境政策におけるインセンティブ問題

[環境問題と現代社会の課題]

経済成長と真の豊かさ、社会のあり方、さらに人間以外の生物の生存権などさまざまな論点に触れます。

高安 健一 教授

途上国の開発に関する理論的・政策的な研究

[開発経済学：理論と実践]

開発経済学を縦軸、他の学問分野を横軸に、自ら設定した課題の解決策を導き出します。

全 載旭 教授

開発経済学、アジア経済論、中国経済論

[東アジアの経済発展と開発経済学]

東アジアの急速な発展と、日本、中国の経済全般、発展途上国や貧困問題を含む開発経済を学びます。

徳永 潤二 教授

国際金融論、金融不安定性、経済の金融化

[国際金融論]

国際通貨システムの過去・現在・将来、日本経済の構造問題などについて学びます。

西牟田 祐二 教授

世界経済史・国際経営史

[グローバル経済と多国籍企業経営の進化]

世界経済やその中での企業経営の発展を歴史的な事例研究の方法で学び、研究します。

野村 容康 教授

北欧諸国の租税政策

[税制改革を考える]

財政学のテキストから日本の税制の基本的な仕組みを理解し、租税の本来のあり方を考察します。

本田 浩邦 教授

国際経済・日米経済

[グローバルイノベーションと貧困・経済格差]

アメリカと日本を中心に、長期停滞のもとでの貧困・経済格差、賃金や社会保障の問題を学びます。

益山 光央 准教授

国際貿易と国際経済に関する理論的および実証的な課題

[国際貿易入門]

国際貿易・国際経済学の入門書を読み込み、国際貿易理論や関連分野について学んでいきます。

森永 卓郎 教授

労働経済学

[仕事と暮らしの経済学]

格差問題や、年金、介護といった社会システム問題の解決策と、今後の経済社会のあり方を考えます。

森永ゼミ
紹介Movie



山下 裕歩 教授

研究開発による経済成長

[マクロ経済学と社会・経済問題]

少子高齢化、所得格差、貧困などの社会問題を、マクロ経済学の視点で捉え、解決策を探ります。

山本 裕 准教授

近現代日本社会経済史、日本植民地研究、近代日本における「満洲」経済進出の総合的研究

[近現代日本社会経済史研究]

近現代日本のあゆみを社会・経済領域とその隣接領域に着目して学びます。関連する文献を探索・読解し、発表・議論を行います。

山森 恭雄 准教授

行動経済学、実験経済学、ゲーム理論

[行動経済学]

判断と選択における認知バイアスについて理解を深め、合理的な選択をするための思考力を養います。

湯川 益英 教授

民法(契約法理論)、消費者法、私法原則

[民法(契約法)と経済社会]

雇用契約や売買契約、賃貸借契約といったさまざまな契約法について学び、模擬裁判で討論します。

湯川ゼミ
紹介Movie



吉田 翔平 専任講師

産業組織論

[産業組織論と経営の経済学]

現実経済での企業行動や政策を、自分なりに解釈、説明し、評価できるようにすることを目標とします。

秋本 弘章 教授

情報化社会における地理教育のあり方の研究

岡田 圭子 教授

第二言語習得、英語教育

卒業論文テーマ一覧(一部抜粋)

- スローという可能性——ファスト化した社会からの脱却
- 食糧危機・食品ロス——フードバンクを利用した持続可能な社会
- 人工知能と雇用——将来予測と課題
- SNSと承認欲求の関係性——若者の利用者の実態から考える
- 人口減少により深刻化する空き家問題
～日本が行う対策に足りないものとは～
- メンズメイクに対する社会的認知
～歴史・市場の視点から今後の可能性を考える～

TOPICS

経済学部プレゼンテーション・コンテストの開催

経済学部では毎年秋にプレゼンテーション・コンテストを開催しています。2021年では書類審査を通過した8グループが出場し、日頃の調査研究を発表しました。経済学科では、山森ゼミの「コロナ禍における20代の自粛とリスク認知」と、吉田ゼミの「著作権管理事業を対象とした市場独占化に関する研究」が優秀賞となりました(最優秀賞は、経営学科堀江ゼミの「d-salon 制作報告」)。



SDGs × 獨協大生 × 草加せんべい 地元の伝統産業の活性化に貢献

高安ゼミの学生が、持続可能な開発目標(SDGs)の「つくる責任 つかう責任」の達成をめざし、市内の草加せんべい会社とプロジェクトを推進しました。草加せんべいの製造過程で廃棄される米ぬかや廃油を使って石けんを作り、「せんべい屋の石けん」として割れせんべいと共に販売しました。購入者にSDGs啓発用の冊子を配布しました。



規格外野菜の価値を伝えることで 食品ロス削減への意識を高める

高安ゼミの「多様性野菜レスキュー隊」が、食品ロス削減をめざすプロジェクトを草加市内で展開しました。規格外野菜を「多様性野菜」としてリブランディングすることで本来の価値をアピールするとともに、飲食店でのメニュー提供や消費者アンケートを実施しました。日本最大の環境展「エコプロ2021」に出展し、冊子を配布しました。



4年間の集大成を発表 「卒業論文ポスターセッション」の開催

経済学部では、学びの集大成として卒業論文を書いて卒業することをコンセプトとして掲げています。その卒業論文の披露と知的交流の場として、経済学部生を対象として卒業論文ポスターセッションを開催。発表者は参加者からの質問に答えたり、意見交換を楽しんでいました。

